

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38451
事業名	文化財施設等保全費					
評価担当課	所 属	市)文化部 文化振興課			電話番号	011-211-2261
施策名	文化・文化財を適切に保存し様々な形で生かすとともに、札幌市へ					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	文化財建造物は、その価値を長く維持するために適切な日常管理と計画的な保存修理が必要。本市における文化財施設は市有施設保全事業の対象外であるため、これまで個別に保存修理を実施してきたが、全体の保全計画を策定し、計画的な修理をする必要がある。 また、平成29年には「重要文化財(建造物)耐震診断・耐震補強の手引き」が改訂され、全国的に地震対策の必要性が再認識されている。さらには、平成31年4月のノートルダム大聖堂・同年10月の首里城跡等の火災を踏まえ、文化庁が令和元年に防火対策ガイドラインを策定。令和3年には重要文化財(建造物等)防災施設整備事業(防災施設等)指針に同ガイドラインの内容を反映。これらにより、文化財特有の燃焼特性(脆弱性)を理解し、文化財の特性に応じて個別に総合的な防火対策を講じるよう求めている。
	事業内容(何を実施し)	文化部が所有する文化財施設及び郷土資料館について、計画的な保全を行うために、保全計画に基づき改修工事等を実施する。また、文化財施設については、将来に継承していくために、耐震化工事を実施する。 ＜令和5年度に実際に取り組んだ内容と結果＞ ①耐震・保全改修工事(清華亭) ②耐震改修等基本設計(旧黒岩家住宅) ③保全計画に基づく改修(豊平館、八窓庵、新琴似屯田兵中隊本部等) ④防火対策概略検討 ⑤展示設計(清華亭)
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	文化財施設等の歴史的価値を保ち、次世代に継承する。
	他都市の状況	重要文化財菅田庵及び向月亭(島根県): 令和元年度完了 旧函館区公会堂: 令和2年度完了 清水寺観音堂(八戸): 令和3年度完了
	市民参加の実施	■ 企画 □ 実施 □ 評価 □ 対象外

令和4年度決算額	36,791 千円	うち特定財源	10,000 千円	正規職員業務量	0.85 人工
令和5年度予算額	120,000 千円	うち特定財源	87,000 千円	正規職員業務量	0.55 人工
令和5年度決算額	95,144 千円	うち特定財源	71,500 千円	正規職員業務量	0.55 人工
令和6年度予算額	28,000 千円	うち特定財源	11,000 千円	正規職員業務量	1.05 人工

指標	アウトプット活動指標1	文化財施設等の改修・耐震化に着手した件数(累計)			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		25	32	35	39	48	53
	↓						
	アウトカム成果指標1	文化財施設等の改修・耐震化に着手した件数(累計)			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		25	32	35	39	48	53
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	計画とおりに文化財施設等の保全改修及び耐震化・防火対策強化に着手することができた。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	資材高騰や担い手不足により、事業の進捗や費用の高騰に直面している。その中でも計画的な予防保全に取り組むために工法や費用面での工夫を図る必要がある。